



井上さとし参院議員、西沢博さん迎え「新春の集い」楽しく



2月2日、10日と日本共産党は、市内で「新春の集い」を開催し、国政報告、市政報告を行うとともに楽しい懇親を深めました。

2日は吉川区多目的集会場が会場。井上さとし参院議員を迎えての集いでした。

第一部では、橋爪議員が市政報告をし、災害救助法適用問題、通学路の安全対策、総合事務所の見直し問題などでの質問や見解を紹介しました。次いで、井上さとし参院議員がデフレ対策、安倍内閣の憲法改悪策動など国政の課題について講演しました。井上議員は、デフレ対策は賃上げなどによって購買力を高めることが要であり、「賃上げは大企業の内部留保をちょっとまわすだけで可能」と語りました。

また、被爆二世として憲法改悪の動きは許せないとのべ、改悪にストップをかける決意を表明しました。

懇親会では朗読グループの皆さんが橋爪議員の書いた「わら布団」(『幸せめつけた』恒文社、

所収)を群読、さらに紙芝居プラスαで「金色夜叉」を披露してくださいました。ボール箱に豆を入れて波の音を出すなど、なかなかの演出でした。昨年漫談で会場を沸かせた仙田幸造さんが、今年は「炒って食おうか、種にしようか」の民話を演じ、大きな拍手を浴びました。

10日は、高田の高陽荘が会場でした。西沢博参院新潟選挙区予定候補が駆けつけました。

第一部は挨拶と演芸。西沢さんが総選挙後の特徴と国政の課題について言及しました。西沢さんは32歳。国政選挙では二度目の挑戦です。この日は若者の雇用、景気の回復などで力強く訴えました。平良木議員は、国保税や新市建設計画の変更など当面する市政の課題について語りました。

第一部の演芸で楽しかったのは、Mさんの落語、「初天神」。高田言葉を駆使し、笑いの連続でした。

第二部では、女性後援会が「憲法音頭」の踊りを披露しました。これは、憲法制定後、国民に広く浸透させようと、サトウハチローが

作詞、中山晋平が作曲したものだそうです。

平良木議員も登場した寸劇は会場を沸かせました。高田会場では独唱したYさん、フルートのFさんなども含め、芸達者な方が多かったですね。

17日には頸城区の希望館でも「新春の集い」が行われます。



日本共産党上越市議員団ニュース

No.351 2013年2月17日

連絡先
橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木哲也 090-1808-6919 (上中田)

